

国立大学附属病院の経営問題に関する 第三次アンケート調査

調査実施組織：国立大学協会経営支援委員会・
病院経営小委員会

調査期間：平成18年5月

対象：附属病院を有する国立大学法人
(42国立大学45附属病院)

回収率：100%

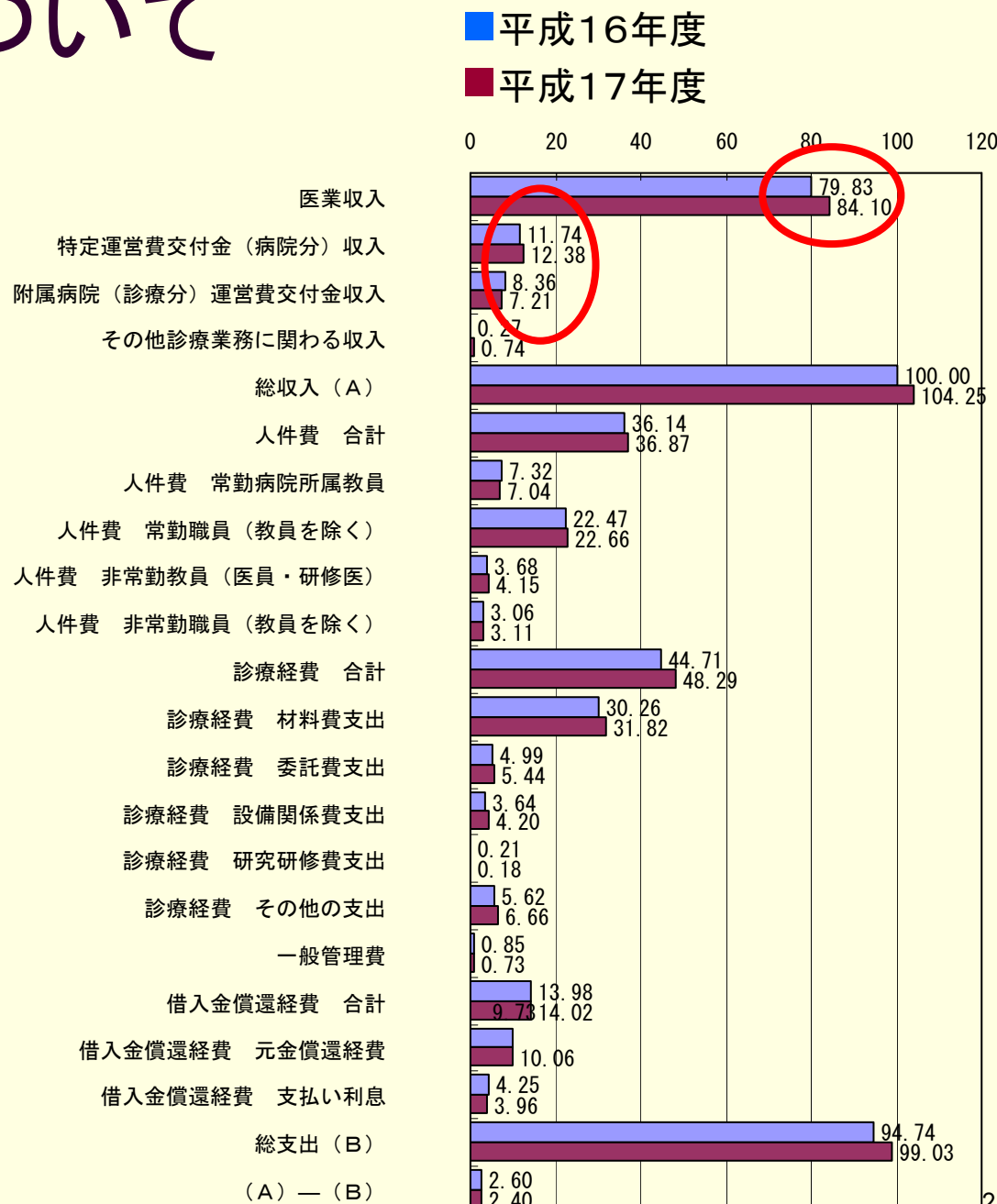
財務状況について

平成16年度総収入
を100とした場合

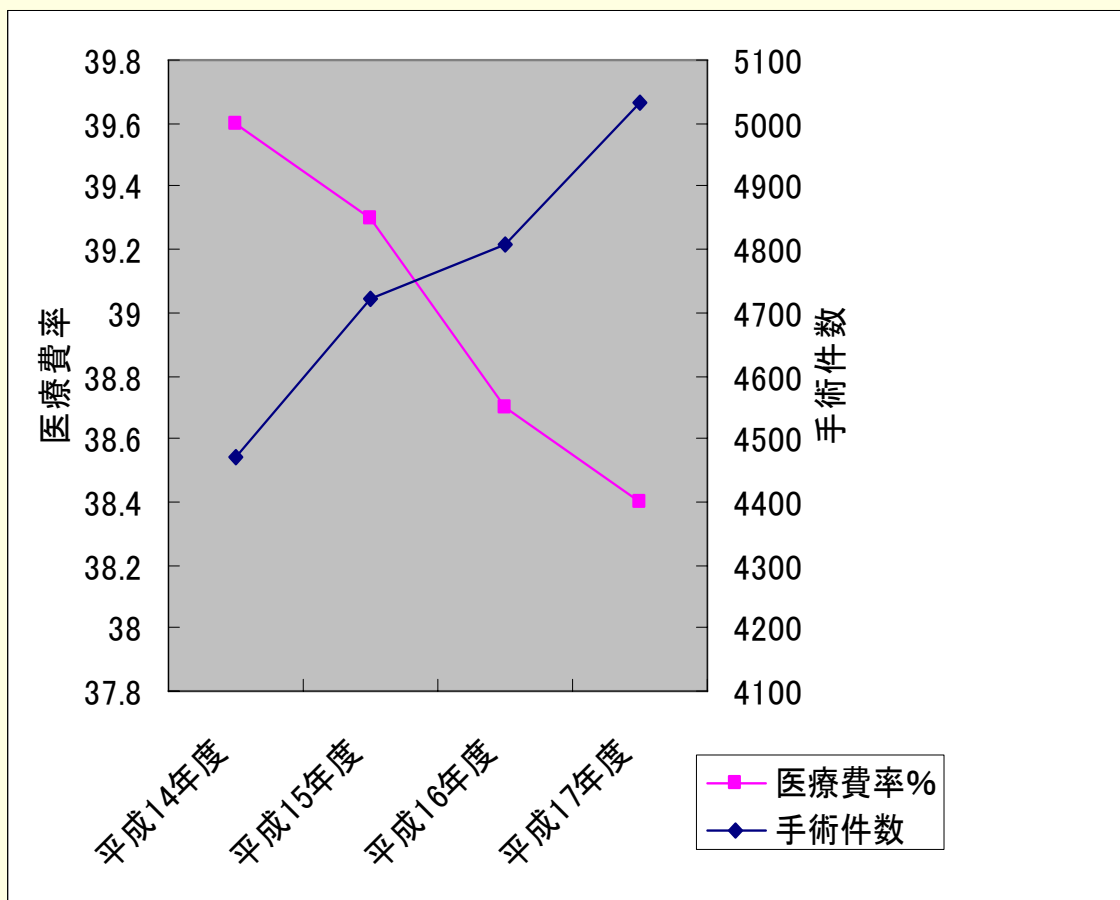
■平成17年度は16
年度に比べて医業
収入4.27増、総収
入は4.2増

■特定運営費交付
金は0.64増

■附属病院運営費
交付金は1.15減



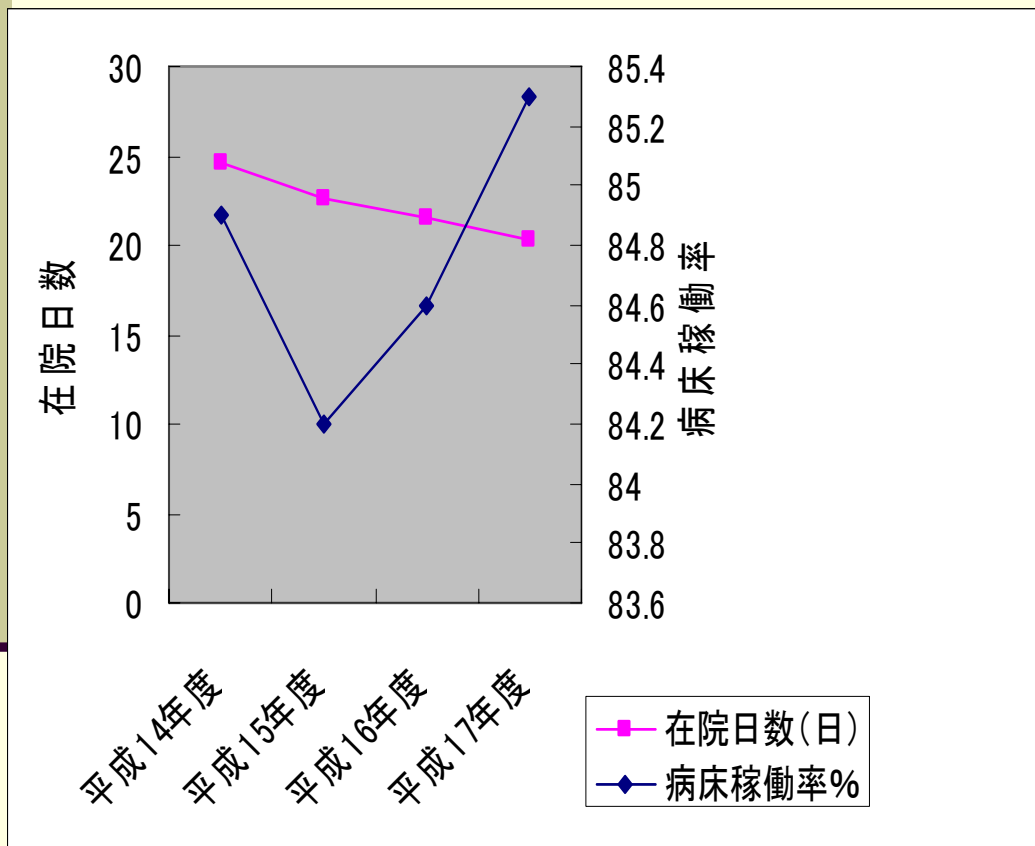
医療費率、手術件数の推移



- 医業経費率を反映する医療費率(医薬品費・材料費／診療報酬請求額)は低下
- 手術件数は増加
- 一般的に手術件数が増加すると医療費率は増加しやすいが、むしろ低下している。

■ 相当な採算性向上努力の現われ

平均在院日数、病床稼働率の推移



- 平均在院日数は短縮
- 病床稼働率は一時低下したが、上昇
- 一般的に在院日数が短縮すると、病床稼働率は低下しやすくなるが、むしろ上昇

大学附属病院の総医師数が減少する傾向の中で、採算性向上目標を達成！